

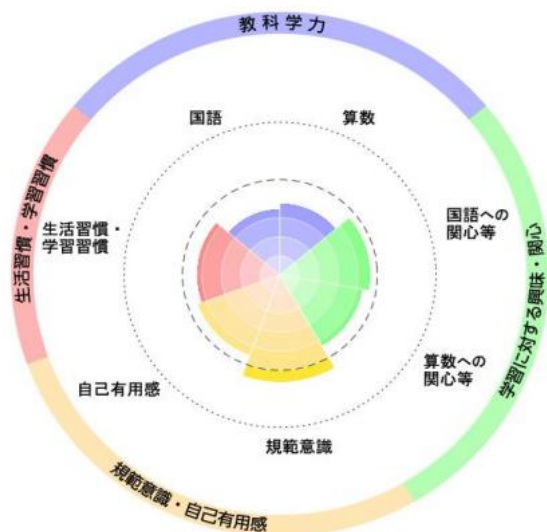
# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果分析

実施日時・・・令和5年4月18日

実施児童数・・・6年生 74人

実施教科・・・国語、算数

児童質問紙(全国基準)



平均正答率	国語	算数
本校	55%	51%
神奈川県	66%	63%
全国	67.2%	62.5%

## 国語

	都田小学校	神奈川県	全国
正答数(14問中)	7.7	9.3	9.4
A 話すこと・聞くこと	58.6	70.4	72.6
B 書くこと	17.6	25.6	26.7
C 読むこと	60.8	70.4	71.2
①言葉の特徴や使い方	56.8	70.1	71.2
②情報の扱い方	56.8	64.3	63.4

正答数が7.7問と県、全国よりも低い。平均正答率も55%（県66%、全国67.2%）と同様の結果である。3問のみ正解の児童が9.5%と、県（2%）や全国（1.8%）と比べて非常に多い。

特に、「A 話すこと・聞くこと」の問題の正答率が、県、全国と比べると大きく低くなっている。「①言葉の特徴や使い方に関する事項」と合わせて課題となっている。

## 算数

	都田小学校	神奈川県	全国
正答数(16問中)	8.2	10.1	10.0
A 数と計算	51.6	67.1	67.3
B 図形	43.2	50.0	48.2
C (ii) 変化と関係	61.5	72.3	70.9
D データの活用	52.7	65.2	65.5

正答率が51%（16問中8.2問正答）と県（63%）、全国（62.5%）と比べて10%以上低い。16問中5問正答という児童が12.2%と割合が多く、県や全国（共に4.4%）の約3倍になっている。また、3問以下の正答率の児童が17.6%と、県（6.8%）や全国（6.4%）と比べて非常に多い。

「A 数と計算」の領域では、県や全国よりも16%以上も低く、「C (ii) 変化と関係」「D データの活用」と合わせて課題と考えられる。